

発行日 2025 年 11 月 27 日

エコアクション 21 環境経営レポート 2024

(対象期間 2024 年 4 月～2025 年 3 月)



®環境省

エコアクション 21

認証番号 0001280

群馬合金株式会社

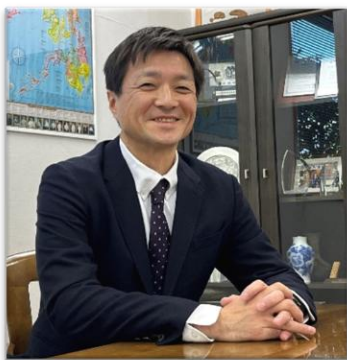
組織の概要

事業者名	群馬合金株式会社	
代表者	代表取締役 六本木 純一	
E-Mail	info@gkg-gr.com	
URL	http://www.gkg-gr.com	
資本金	5,000万円	
創業	1947年3月28日	
設立	1955年1月4日	
事業所	本社工場	第二工場
所在地	〒370-0101 群馬県伊勢崎市東新井1048-19	〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1835-1
電話番号	0270-76-3501	0270-75-3604
FAX	0270-76-2582	0270-75-3605
従業員	91名	32名
敷地面積	13327.69㎡	4389.78㎡
建物面積	6182.90㎡	2548.122㎡
事業概要	非鉄金属ダイカスト製造業	非鉄金属ダイカスト製品の切削加工業
材料溶解量	5,997t	-
製品加工数	-	3,155千個
主要製品	車両部品・産業機器部品・情報機器部品	
主要取引先 (順不同)	NSKステアリングシステムズ株式会社及び関係会社 株式会社山田製作所 株式会社ミツバ 澤藤電機株式会社 他数社	
環境管理 責任者	見城 英明(生産本部部長兼業務部部長)	
環境事務局	木村 剛(業務部総務課課長)	
関連会社	株式会社エヌ・シー・ロード Gunma Gohkin Philippines Corporation Creative Diecast Philippines Corporation	

環境経営方針

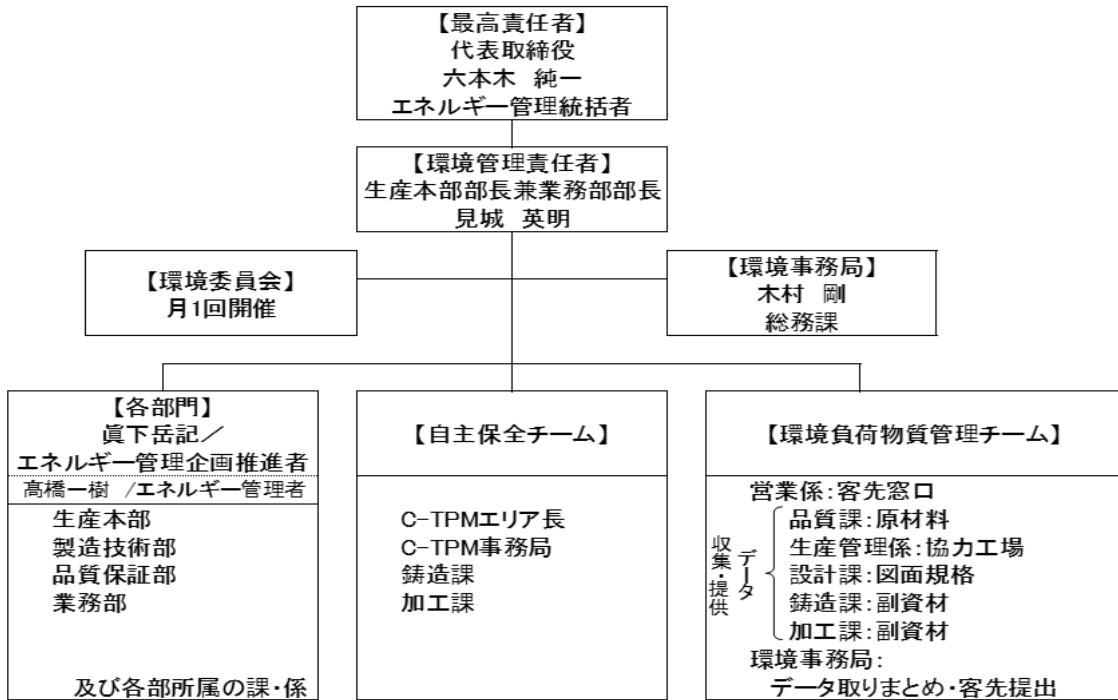
『世界で一番きれいで地球に優しいダイカスト工場』
を目指して、子供たちに明るい未来を継承するために
以下の環境保全活動の取り組みを致します

- 1 製造業として環境に配慮した生産工程の開発や設計に取り組み『環境配慮型製品』の生産に努めます
- 2 予防保全による設備停止ロスや品質改善による不良ロスの継続的改善によりエネルギーロスの抑制に努めます
- 3 環境関連法規制を遵守し公害防止に努め、地域社会への『調和』『貢献』をお届けし、企業としての社会的責任を果たします
- 4 上記の各活動に対してレビューを実施し、更なる継続的改善活動に努めます



2019年4月1日
群馬合金株式会社
代表取締役 六本木 純一

コアクシヨン 21 推進組織



職 名	役 割
【最高責任者】 エネルギー管理統括者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者をはじめとする必要な責任者を任命する。任命した責任者に責任と権限を明示する。 エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 環境方針を制定する。必要に応じて改訂する。 エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。 全社のエネルギー管理の管理責任を負う。
【環境管理責任者】	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目標を達成するために環境委員会を運営する。 エコアクション21の構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
【環境委員会】	<ul style="list-style-type: none"> 最高責任者・環境管理責任者・事務局・安全衛生委員で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。 環境目標・環境活動計画を策定し、進捗管理について協議する。 各チームの活動状況を確認し、問題があれば対応を協議する。 その他環境に関する問題が発生した場合は対応を協議する。 環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。
【環境事務局】	<ul style="list-style-type: none"> 最高責任者・環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所轄する。 各部門・各チームの環境活動への支援を行う。 エコアクション21審査にメイン担当者として対応を行う。
【各部門】 エネルギー管理企画推進者 エネルギー管理者	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画及び環境委員会の決定事項に従い環境活動を実行する。活動結果や問題は環境委員会にフィードバックする。 全社のエネルギー消費状況を把握管理し省エネ推進をする。 企画推進者と情報を共有し各部門と省エネ対策を進める。
【自主保全チーム】	<ul style="list-style-type: none"> 自主保全活動を通じて設備劣化・不具合による環境負荷増加を未然に防止する。
【環境負荷物質管理チーム】	<ul style="list-style-type: none"> 顧客その他社外からの環境負荷物質等の調査依頼に対応する。

環境経営目標及びその実績

本社工場

※二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量の各目標値及び実績値は製品材料として溶解したアルミニウム合金1t当りの数値

※二酸化炭素の排出係数は環境省公表の2017年度の東京電力調整後排出係数(0.462kg/kWh)による

項目	区分	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素 排出量削減	目標(対2021年度比)	1%削減	2%削減	3%削減
	目標値(kg/t)	512.4	507.2	502.1
	実績値(kg/t)	489.4	509.7	507
	判定	○	×	×
	総量(kg)	3,074,885	3,204,801	3,040,554
廃棄物 排出量削減	目標(対2021年度比)	3%削減	3%削減	3%削減
	目標値(kg/t)	23.2	23.2	23.2
	実績値(kg/t)	36.1	24.1	23.9
	判定	×	×	×
	総量(kg)	231,540	157,070	143,690
水使用量削減	目標値(m ³ /t)	0.88 <small>(2019~2021原単位)</small>	22年度設定比 0.88×1%削減	22年度設定比 2%削減
	実績値(m ³ /t)	1.05	1.19	1.33
	判定	×	×	×
	総量(m ³)	6,623	7,457	7,969
化学物質 使用量削減	目標	化学物質の適正管理		
	実績	管理実施	適正管理	一部不適合あり
	判定	○	○	×
自らが生産する 製品に関する項目 (本業のエコ)	目標	G-TPM活動での改善活動と環境活動の整合・結合		
	実績	成果あり	成果あり	成果あり
	判定	○	○	○

廃棄物については有価物を除く

環境経営計画の取組評価

本社工場

項目	管理項目	実施事項	評価
二酸化炭素排出量の削減	工程内不良削減	前期不良発生項目に焦点を当てて取り組み、不良事象ごとに発生源対策へ目標値を決め取り組んだ。製品によっては捨て打ち不良を約 50%削減出来た物もあった。全体として前年比 41%削減と効果を得たが目標未達に終わった。	△
	エア漏れ対策	エア漏れ箇所を特定し改善を繰り返し行った。	○
	サイクルタイム短縮	細かな動作見直しなどを行い短縮効果を得ていた。	○
	生産設備稼働率向上	稼働率を低下させている課題を見出し課題ごとに取り組み成果を上げていた。現場が掲げた目標値にはわずか届かなかった。	○
	夏場の日除けの実施	各事務所、エアコンの室外機へ設置した。	○
	エアコンフィルター清掃	食堂では毎月実施を継続。その他各事務所でも 5. 8. 12 月に定期実施した。	◎
	エアコンの適正管理	概ね適正使用だったが、部署によりばらつきがあった。	△
廃棄物排出量削減	工程内不良削減	二酸化炭素排出量削減と同様	△
	発生源対策	不動旧製品出荷用コンテナ廃棄などの増加もあった。	△
	分別の徹底	各課にて周知されていた。	◎
水使用量削減	工程内不良削減	二酸化炭素排出量削減と同様	△
	水道メーターの確認	毎朝のメーター確認から漏水発見につながった。	○
	節水の呼びかけ	月頭朝礼や掲示での呼びかけ実施	△
化学物質適正管理	購入品の管理	取扱品目の把握	○
		取扱量の把握	○
		PRTR 法該当の把握	○
本業エコ	C-TPM 改善活動と環境活動の整合・統合	各エリアで省エネに関する改善活動が行われていた。	○
	SDGs の社内浸透	更なる周知。情報提供が必要	△

評価基準 ◎十分取り組んだ
○活動に取り組んだ
△改善の余地あり

環境経営目標及びその実績

第二工場

※二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量の各目標値及び実績値は加工数 1,000 個あたりの数値

※二酸化炭素の排出係数は環境省公表の 2017 年度の東京電力調整後排出係数 (0.462kg/kWh) による

項目	区分	2022 年度	2023 年度	2024 年度
二酸化炭素 排出量削減	目標(対 2021 年度比)	1%削減	2%削減	3%削減
	目標値 (kg/1000 個)	175.9	174.2	172.4
	実績値 (kg/1000 個)	101.4	103.1	93.2
	判定	○	○	○
	総量 (kg)	342,959	319,349	294,059
廃棄物 排出量削減	目標(対 2021 年度比)	3%削減	3%削減	3%削減
	目標値 (kg/1000 個)	15.1	15.1	15.1
	実績値 (kg/1000 個)	14.7	20.16	13.98
	判定	○	×	○
	総量 (kg)	49,720	62,465	44,125
水使用量削減	目標(対 2021 年度比)	2%削減	2%削減	2%削減
	目標値 (m ³ /1000 個)	0.28	0.28	0.28
	実績値 (m ³ /1000 個)	0.18	0.21	0.24
	判定	○	○	○
	総量 (m ³)	633	670	757
化学物質 使用量削減	目標	化学物質の適正管理		
	実績	管理実施	管理実施	管理実施
	判定	○	○	○
自らが生産する 製品に関する項目 (本業のエコ)	目標	C-TPM 活動での改善活動と環境活動の整合・結合		
	実績	成果あり	成果あり	成果あり
	判定	○	○	○

環境経営計画の取組評価

第二工場

項目	管理項目	実施事項	評価
二酸化炭素排出量削減	エア漏れ対策	設備停止時の土曜日にエアリークビューワーを使いエア漏れ箇所の調査から 49 箇所を確認。リストとマップに落とし込み随時改善を行った。	◎
	サイクルタイム短縮	エアカット見直し、ワークのセッティング方法でハンドリングタイムの見直しなどに取り組み 1 日あたりの出来高を 21.1%増加させた製品もある。	◎
廃棄物排出量削減	洗浄液の廃棄からリサイクル	製品の洗浄液は「温めた水」洗浄により含油水となるため廃棄していたが水溶性の切削油として再利用することで廃油としての排出量を減らした。	◎
	分別の徹底	分別表記を明確化、分別を徹底した	◎
水道使用量削減	洗浄液の廃棄からリサイクル	洗浄液として使った「温めた水」を廃油として廃棄せず再利用したが水の使用量は昨年より増加した。	△
	節水励行の呼びかけ	水道蛇口に「節水」掲示をしている	○
化学物質適正管理	購入品の管理	取扱品目の把握	○
		購入量の把握	○
		PRTR 法該当の把握	○
本業のエコ	C-TPM 改善活動と環境活動の整合・統合	生産性向上への改善から効果が表れていた。	◎
	SDGs の社内浸透	更なる周知、情報提供が必要	△

評価基準 ◎十分取り組んだ ○活動に取り組んだ △改善の余地あり

環境関連法規等の遵守状況・評価

本社工場

法規制等の名称	主な規制内容			評価
	規制名	当社規制対象	遵守状況	
大気汚染防止法	ばい煙発生施設	集中溶解炉	ばい煙測定実施 排出基準以下	○
浄化槽法	浄化槽	浄化槽	11条検査実施	○
騒音規制法 振動規制法	騒音特定施設 振動特定施設	ブロー エアーコンプレッサー 全自動トリミングマシン	規制基準遵守状況 確認	○
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	一般廃棄物	一般可燃ごみ・段ボール 等	マニフェスト・契約書・ 許可証等確認	○
	産業廃棄物	金属くず・廃油・木くず・ 廃プラ等		
	水銀使用製品産業 廃棄物	蛍光灯等		
労働安全衛生法	作業環境測定	騒音 粉じん	作業環境測定実施 保護具対応 講習・資格取得継続 健康診断実施 安全衛生委員会継続	○
	作業主任者	プレス作業主任者 特定化学物質及び四アルキル 鉛等作業主任者		
	技能講習	クレーン 玉かけ		
	化学物質管理者	選任と掲示		
	消防法	少量危険物貯蔵取 扱所	灯油	掲示・表示確認 設備点検実施 自衛消防訓練実施
消防用設備		消火栓 消火器		
		自動火災報知設備		
エネルギーの使用 の合理化等に関する法律	特定事業者 第二種エネルギー管 理指定工場	当社 工場	定期報告書・中長期 計画書提出	○
群馬県の生活環境 を保全する条例	ばい煙発生施設	1号機炉・2号機炉	規制基準遵守状況 確認	○
	騒音特定施設 振動特定施設	ダイカストマシン		
群馬県地球温暖化 防止条例	特定排出事業者	当社	温室効果ガス計画書・ 報告書提出	○
伊勢崎市公害防止 協定	ばい煙発生施設	集中溶解炉 1号機炉・2号機炉	ばい煙測定実施 排出基準以下	○
フロン類の使用の合 理化及び管理の適正 化に関する法律	第一種特定製品	パッケージエアコン等	各種点検実施 行程管理票運用	○

環境関連法規等の遵守状況・評価

第二工場

法規制等の名称	主な規制内容			評価
	規制名	当社規制対象	遵守状況	
浄化槽法	浄化槽	浄化槽	11条検査実施	○
騒音規制法 振動規制法	騒音特定施設 振動特定施設	エアーコンプレッサー	規制基準遵守状況 確認	○
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	一般廃棄物	一般可燃ごみ・段 ボール等	マニフェスト・契約書・ 許可証等確認	○
	産業廃棄物	金属くず・廃油・木く ず・廃プラ等		
	水銀使用製品産業 廃棄物	蛍光灯等		
労働安全衛生法	健康診断	健康診断	健康診断実施	○
消防法	消防用設備	パッケージ型消火設備	掲示・表示確認 設備点検実施 自衛消防訓練実施	○
		消火器		
		自動火災報知設備		
エネルギーの使用の 合理化等に関する法律	特定事業者	当社	定期報告書・中長期 計画書提出	○
群馬県地球温暖化 防止条例	特定排出事業者	当社	温室効果ガス計画 書・報告書提出	○
フロン類の使用の合 理化及び管理の適正 化に関する法律	第一種特定製品	エアドライヤー パッケージエアコン等	各種点検実施 行程管理票運用	○
土壌汚染対策法	使用廃止有害物質 使用特定施設に係る 工場	ジクロロメタンによる 洗浄施設(廃止済)	承継届出書提出済	○
ポリ塩化ビフェニル廃 棄物の適正な処理の 推進に関する特別措 置法	(低濃度)ポリ塩化ビ フェニル廃棄物	コンデンサー	廃棄終了届出書・処 分状況届出書提出済	○

※環境法規等への違反、訴訟等の有無

本社では2024年度の法改正「化学物質管理者の選任と掲示義務」に対して「選任と掲示がされていない」とのご指摘が更新審査時にあり、評価「×」としました。

このご指摘については2024年12月中に管理者を選任し提示を行っています。

環境法規制等に関する訴訟、苦情など両工場ともありませんでした。

第二工場では違反等はありませんでした。

第二工場 エア漏れ調査から修理改善へ

C-TPM 活動にも盛り込まれている環境活動のひとつとしてエア漏れ状態を可視化できる装置を使い実態調査を実施。検出されたエア漏れ箇所をみんなの手で修理、改善を進めている。漏れ原因のひとつとしてエアガンとホースの接手締め付けの緩さにあることが分かり、ベテラン技術者によるシールテープの巻き方勉強会を行い正しい巻き方を教わった。エア漏れ改善に終わりはないぞ!!
2024 年度通年活動



お取引先様とのカーボンニュートラル共同活動 事例報告会

2024 年度はお取引先様とのカーボンニュートラル共同活動としてお取引先様の工場見学をさせていただき先進的な活動事例を学びました。

また、11 月 15 日には弊社第二工場にて、お取引先様と共同活動参加企業の皆様がお見えになり当社の事例報告会及び工場視察が行われました。

次年度の環境経営目標・活動内容

本社工場

項目	環境経営目標			活動内容		
	単年度目標 2025年度	中期目標 2026年度	中期目標 2027年度			
二酸化炭素 排出量	2024年度比 1%削減	2024年度比 2%削減	2024年度比 3%削減	工程内不良削減	生産性向上からエネルギー 使用量削減を狙います	
				エア漏れ改善		
				サイクルタイム短縮		
				生産設備稼働率向上		
				省エネ設備導入 (蛍光灯のLED化など省エネタイプへの切替)	基本的な省エネ、エコ活動を 心掛けましょう	
						夏場の日よけの実施
						エアコンのフィルター清掃
						エアコンの適正使用管理
基本的な省エネ活動推奨						
廃棄物排出量	2024年度比 3%削減	2024年度比 3%削減	2024年度比 3%削減	工程内不良削減	生産性向上への取り組みと基 本的な分別意識、発生源対策 から効果を狙います	
				発生源対策		
				分別の徹底		
水使用量	2023年度比 1%削減	2023年度比 2%削減	2023年度比 3%削減	工程内不良削減	生産性向上への取り組みと 基本的な節水、エコ活動を 心掛けましょう	
				水使用量把握と生産設備からの漏れ管理		
				節水の徹底		
化学物質 適正管理	化学物質の 適正管理			取扱品目の把握	取扱品目及びその購入量の管 理を徹底しましょう	
				購入量の把握		
				PRTR法該当の把握		
本業エコ	C-TPM活動と環境活動の整合・結合			C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の 整合・結合	エリア改善活動でも環境目標 達成へ向けた活動をお願いし ます	
	SDGsの取組			生産者として限りある資源の効率的利用、省エネへの取り組みが必要です		

※二酸化炭素排出量削減・廃棄物排出量削減・水道使用量削減の目標は材料溶解量1t当たりの数値とする。

第二工場

項目	環境経営目標			活動内容		
	2025年度	2026年度	2027年度			
二酸化炭素排 出量	2024年度比 1%削減	2024年度比 2%削減	2024年度比 3%削減	工程内不良削減	生産性向上を基本とし、省エネ型設備の機能が十分 発揮できるような管理、エアロス対応の継続から目標 達成を狙います	
				エア漏れ対策		
				省エネ型設備の適正管理		
				省エネ設備導入		
				生産設備稼働率向上	基本的な省エネエコ活動を心掛けましょう	
						サイクルタイム短縮
						夏場の日除け設置
						エアコンフィルターの清掃
エアコン適正利用管理						
	基本的な省エネ活動推奨					
	基本的な省エネ活動推奨					
廃棄物排出量	2024年度比 3%削減	2024年度比 3%削減	2024年度比 3%削減	工程内不良削減	生産性向上への取組と廃棄から リサイクル化で削減へつなげましょう	
				洗浄液、切削油リサイクル化推進		
				分別の徹底		
水使用量	2024年度比 1%削減	2024年度比 2%削減	2024年度比 3%削減	工程内不良削減	生産性向上への取組と基本的な節水、 エコ活動を心掛けましょう	
				生産設備予防保全漏れ管理		
				節水の徹底		
化学物質の再管 理	化学物質の適正管理			取扱品目の把握	取り扱い品目及びその購入量の管理を徹底しましょう	
				購入量の把握		
				PRT R法該当の把握		
本業エコ	C-TPM活動と環境活動の整合・結合			C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合	エリア改善活動でも環境目標達成へ向けた活動をお 願いします	
	SDGsの取組			生産者として限りある資源の効率的利用、省エネへの取り組みが必要です		

※二酸化炭素・廃棄物・水道の各目標値は製品の加工数1,000個当たり

代表者による見直しと指示

ガイドライン要求事項	現状の取組内容等	見直しと指示
対象組織・活動の明確化	対象組織は会社全体であり、全員で取り組んでいる。	
環境方針の策定	とても大きなテーマを掲げているが、CTPMのエリア活動でも世界で一番きれいで地球にやさしいダイカストを目指す。が掲げられ改善活動が行われている。	社是、企業理念、経営方針、環境経営方針などが記載されている方針カードを刷新し配付した。各方針について更なる社内浸透を図る。
負荷取り組み状況把握及び評価	負荷項目は毎月データが記録され定期的に負荷チェックが行われ、環境委員会でも毎月報告されている。	
環境関連法規等の取りまとめ	関連する法規等を一覧表にまとめ定期的に遵守状況や改正がないか確認されているが、更新審査にて対応漏れを指摘された。	一部法改正の対応漏れがあり審査員様からご指摘を受けた。環境活動に関しても法令に遵守した活動が原則であり、働く皆さんの安全と健康を守ることになりませう。都度新しい情報を得よう努め適宜対応すること。
環境目標及び計画の策定	本社での水の使用量削減については、1月度に工場内で漏水があった。日々実施の水道メータ確認から異常値は報告されていたが地下配管からの漏れだったため発見できなかった。 第二工場での廃棄物削減への取組では、洗浄液を切削油への希釈材として再利用することで含油水廃棄量は前年比で31%の削減となった。その一方で水道使用量が増えた。生産工数の増加が要因である。洗浄液は100%再利用出来ないのが現状で更なる再利用化などでの廃棄物削減と水の使用量削減が課題。	地下配管からの漏水により該当月は通常の倍近い使用量で異常値とした。25年度からの使用量削減基準年度を異常値のなかった23年度とする。毎日の水道メータ確認は継続する。
実施体制の構築	実施体制を変えることなく全員参加での活動を継続する。	
教育訓練の実施	月頭朝礼でカーボンニュートラルについてや品質課が不良改善に関する勉強会を年間通して行った。フォークリフトの安全運行に関する研修も行った。	
環境コミュニケーションの実施	お取引先様のカーボンニュートラル推進会共同活動によりお取引先様工場の見学からは事例を見る機会があった。また、当社を会場としてお取引先様始め他社様を迎えて事例発表を行った。外部の方へ二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減につながる活動報告をする機会は初めてのことであり、お取引先様からの好評価をいただいた。	この共同活動は終わりではないと思えます。継続した活動の中から社内へ取り入れることが出来る事例は積極的に試してみましよう。
実施及び運用	鑄造課では捨打ち不良の削減に冷却水自動化など、試してみて検証し手直しをしながら取り組んでいる。エア漏れ改善サイクルタイム短縮など生産性向上を狙った地道な改善活動の継続と安定生産の為の保全活動へ取り組んでいる。 加工課では作業者の安全と作業効率向上を狙った細かな活動が繰り返されている。色々とアイデアを出し合いながら全員参加の活動ができていることがTPM活動からも確認できた。	
環境上の緊急事態への準備と対応	本社、第二工場共に消火訓練及び避難訓練を行っている。技能実習生や特定技能者へ向けても訓練の内容、避難経路等についても説明が出来ていた。 本社では油流出時の対応訓練が行われたが第二工場では未実施だった。	本社ではケガ人を想定した搬送訓練を行ったが、実施者からは改善意見が出た。搬送方法の見直しが必要。担架又は車いすなどの準備をする。 第二工場では切削油の取り扱い頻度が高い毎年必ず実施する。
環境経営方針	次年度も継続します。	
環境経営目標	次年度も継続します。	
環境経営計画	各計画を継続しながら会社として必要に応じ次年度への施策を追加します。	
実施体制	次年度も継続します。	

代表者による全体の評価

群馬合金株式会社は、「世界で一番きれいで地球に優しいダイカスト工場」を目指す環境経営方針のもと、全社的に環境保全活動へ取り組んでまいりました。

本社工場では目標達成に至らなかったものの、工程内不良削減やエア漏れ対策、サイクルタイム短縮などの活動により一定の効果を確認できました。

第二工場では継続的な改善により目標を達成し、総量削減にも成果が表れました。

本社工場では依然として目標未達が続いていますが、省エネ・省ゴミ・節水などの取り組みは定着しています。第二工場では洗浄液のリサイクルなど新たな工夫により改善効果が見られました。

両工場とも改善活動と環境活動の統合が進み、省エネや生産性向上に成果がありました。

省エネ勉強会やフォークリフト安全講習、LED照明導入、エア漏れ改善活動など、社員参加型の取り組みが広がり、環境意識の向上につながりました。取引先様との共同活動も実施し、外部との連携による学びを得られたことは大きな成果です。

2024年度は、第二工場を中心に目標達成が進んだ一方、本社工場では水使用量や廃棄物削減などに課題が残りました。しかしながら、全社的に省エネ意識が高まり、改善活動が着実に成果を生み出していることは大きな前進です。

次年度は、未達成項目の是正と予防処置を徹底し、目標達成に向け一人の百歩より百人の一步を積み重ねてゆきましょう。

群馬合金株式会社

代表取締役 六本木 純一